

トイレをもっと使いやすく 宮前区内の公共施設を調査して

近年、商業施設や駅など、一般に多数の人が使うトイレはほとんどが洋式で清潔になり、外出中の負担やストレスが減った女性も多いのではないのでしょうか。ところが――

▼区内の公共施設では

区内在住の女性から、公共施設のトイレを利用する時に和式タイプが多く困っている、との意見が寄せられたのを機に、4月中旬に宮前区内の主な

公共施設の女性用トイレを中心に、設置状況を調査しました。高齢者や介助を必要とする場合など、和式タイプより洋式が使いやすいからです。(対象施設は表参照)

洋式トイレの設置状況は、宮前区役所は1階

施設名	個室の数	洋式の数	多目的トイレ
宮前区役所 1階	4	1	1
2階	4	3	1
3階(福祉課)	5	4	1
4階	5	3	1
宮前文化センター 1階	5	2	
(大ホール内)	19	2	
2階	3	1	1
3階	3	1	
4階	3	1	1
向丘出張所 1階	3	1	1
2階	2	1	
有馬・野川生涯学習支援センター 1階	2	2	1
2階	2	2	1
3階	2	1	
平老人いこいの家	4	2	1
平こども文化センター			
(女子)	3	1	
(男子)	2	1	
菅生分館(女性)	2	1	1
(男性)	2	1	
蔵敷こども文化センター			
(女子)	3	1	
(男子)	2	1	
有馬こども文化センター			
(女子)	2	1	
(男子)	2	1	
有馬老人いこいの家	2	1	(専用1)
(男子)	3	2	
野川こども文化センター	2	1	
福祉パル宮前(ビル4階)	2	2	(新設)

調査日：2013年4月17日

部分(4つのトイレ中、洋式は1つ)を除き洋式が和式より多く設置されていました。特に福祉課がある3階部分は、高齢者や障がいのある方が来所することを想定してか、洋式が多く設置されています。

宮前文化センターは、1階の大ホールは19中2が洋式、2階〜4階は3つ中1が洋式でした。多くの世代が利用する施設でありながら、建物が古いためか洋式タイプが少な

い状態です。市民の方からも洋式トイレを増やしてほしいとの要望が多く寄せられているとのことでした。平と蔵敷のこども文化センターは3つ中1が洋式、有馬と野川のこども文化センターは2つ中1が洋式でした。今の子どもたちの家庭はほとんどが洋式トイレになっている状況を見ると、洋式に切り替える必要性を感じます。

対照的に、建物が新しい有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)や福祉パルのトイレは、洋式が中心で和式の方が少ない状況でした。

▼必要なのに重視されない

このほかの設備では、幼児が座れる椅子のトイレ内設置や多目的トイレなどが多く見受けられました。

しかし、多目的トイレはドアの開け方が高齢者にはわかりづらい、障がいのある方以外は使用できないと思っっているなど、まだまだ市民に利用方法が浸透していない事わかりました。

調査から見えてきた結果は、

放射能測定

野川第1、第2、第3、第4公園



野川第3公園

4月12日の午前、野川地区の公園で放射能測定をいたしました。これまで、地域のさまざまなかま公園に出かけて測定を行ってきましたが、数値の高低とところには共通点があることが見えてきました。

風向きでは風下、地形では低いところの数値が高めです。また管理や清掃の状況も数値

トイレは人間が生きていく上で日常使用されるものでありながら、公共施設の設備の中ではあまり重要視されていないのでは、ということでした。

これからの高齢化社会や防災の視点(避難所に利用)、時代の流れなどを考えると、公共施設のトイレは早急に洋式トイレへの切り替え、より市民が使いやすい、防災も考慮したトイレ設置を進める事を提案していきたいと思えます。

福島第一原発の事故後、国内の原発は再稼働した大飯原発3、4号機を除いて停止していますが、原発以外の電力や、市民、企業の節電省エネの努力もあり、電気は足りています。子供たちの将来に禍根を残さないためにも、私たち市民が声を上げていきます。

測定値はホームページをご覧ください
<http://miyamae.kgnet.gr.jp/>